

# 大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

# 7月号

## 気づき・考え・行動するために

7月を迎え、学校では1学期の教育活動を振り返る時期となりました。子どもたちにとって「楽しい学校であったか。」「学力は確実に定着しているか。」「安心・安全な学校であったか。」「思いやりの心を育むことはできたか。」等々。子どもたちや教職員だけでなく、個人懇談やPTA役員会等を通して、保護者の皆様からのご意見を基に振り返りを行い、改善を図って参ります。

さて、本校の子どもたちは、チャイムの鳴らない学校生活を送っています。時計を見たり、上級生が下級生に時間を知らせたりしながら過ごす姿は、本校のよき伝統です。「気づき・考え・行動」できる児童の育成を目指す本校の特色でもあります。

また、とかく学校では、転ばぬ先の杖をついてあげてしまいがちです。失敗を許容し、ちがいを認めあえる学級・学校をつくるのが、「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成につながると考えています。

夏休みまで約3週間。少しでもめざす児童に近づけるよう、学校でも1学期のまとめをしっかりと行いますので、ご家庭でも元気に夏休みが迎えられますよう、ご支援をよろしく願います。



### 今日の学校教育が 直面している課題 (中央審議会答申より)

- ① 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり、結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され、その負担が増大
- ② 子供たちの多様化（特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加、貧困、いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等）
- ③ 生徒の学習意欲の低下
- ④ 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下、教師不足の深刻化
- ⑤ 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど、加速的に進展する情報化への対応の遅れ
- ⑥ 少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性

※課題解決のための方策は・・・

### 学校運営協議会制度（コミュニティスクール）

昨年度から阿波市では学校運営協議会制度を導入しています。この制度は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みです。6月9日には学校運営協議会委員の方に学校経営方針を承認していただき、児童の学習活動も参観していただきました。

